



荏原病院

〒145-0065

東京都大田区東雪谷四丁目5番10号

電話 03-5734-8000

病院の概要

荏原病院は、設立から100年を超える東京都大田区に位置する歴史ある病院で、田園調布を中心に、城南地区と呼ばれる大田区・品川区・世田谷区・目黒区の地域医療を担う中核病院としての役割を果たしています。

当院は、急性期医療において、地域医療機関と連携しながら二次医療機能を担う病院としての役割を担っていますが、脳血管疾患医療や集学的がん医療などについても重点的に取り組んでいます。総合病院としての背景を生かし、救急医療、高気圧酸素治療、総合脳卒中センター、認知症疾患医療センター、緩和ケア、感染症内科などの特色ある機能を持っています。日本の医療の将来を担う若手医師の育成も当院の重点項目の一つであり、新専門医制度に対応した基幹施設として、内科、麻酔科、精神科の専門プログラムが設定されており、多くの若手医師が日々院内外で研鑽を積んでいます。

■ 診療科目

内科 循環器内科 感染症内科 神経内科 脳神経外科 外科 乳腺外科 整形外科 リハビリテーション科
小児科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 眼科 産婦人科 耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 精神科 麻酔科
放射線科 検査科 病理診断科

■ 基幹施設となる診療科（括弧内は連携施設病院）

- ・内科 (大久保 / 大塚 / 駒込 / 墨東 / 多摩 / 神経 / 松沢 / 東邦大学医療センター大森病院 / 昭和大学病院 / 昭和大学藤が丘病院 / 昭和大学横浜市北部病院 / 昭和大学江東豊洲病院 / 蒲田クリニック / 東京医科大学病院 / 島しょ等)
- ・精神科 (多摩総合 / 小児総合 / 中部総合精神保健福祉センター / 医療法人社団 正慶会 栗田病院 / 横浜市立みなと赤十字病院 / 東京医科歯科大学病院 / 医療法人社団 柏水会 初石病院)
- ・麻酔科 (広尾 / 大久保 / 大塚 / 駒込 / 豊島 / 墨東 / 多摩総合 / 多摩北 / 東部 / 神経 / 小児総合 / 昭和大学病院 / 昭和大学横浜市北部病院 / 静岡済生会総合病院 / 上尾中央総合病院 / 桶狭間こころの医療センター / 葛飾ハートセンター)

■ 連携施設となる診療科（括弧内は東京医師アカデミーにおける基幹施設病院のみ掲載）

- ・内科 (大久保 / 駒込 / 墨東)
- ・外科 (墨東)
- ・小児科 (小児総合)
- ・精神科 (多摩総合 / 松沢)
- ・麻酔科 (広尾 / 大塚 / 駒込 / 豊島 / 墨東 / 多摩総合 / 東部)
- ・放射線科 (駒込 / 多摩総合)



(研修風景)

臨床研修委員会委員長からのひとこと



精神科部長
成島 健二

荏原病院は東京医師アカデミーに属し、3つの専門医研修プログラムを持ちます。461病床、21診療科をもつ当院は、働きやすい中規模の総合病院であり、医師同士の距離感が近いため、アットホームな雰囲気です。フットワークのよい診療が実践されています。このような診療環境は、若手医師の教育の場面でも存分に活かされています。

内科専攻医は、消化器、循環器、呼吸器、内分泌、感染症に所属する専門医から直接指導を受けるとともに、地域に根差した病院であることを背景に、いわゆる common disease を幅広くかつ十分に経験することができます。麻酔科専攻医は、恵まれた指導体制のもとに、きめ細かい指導を受けますが、小児や心臓手術などの特殊な麻酔は院外研修が可能です。ペインクリニックや緩和ケアなども、希望があれば経験できます。精神科専攻医は、総合病院の医療資源を生かして十分な検査を行い、薬物療法、精神療法などを柔軟に組み合わせて最善の治療を行うプロセスを体験できます。専攻医は指導医からの指導に加え、カンファレンスで多面的な指導を受けるため、精神科医療の基本を効率的に体得できます。看護師、心理士、精神保健福祉士等との密度の濃いチーム医療は、研修をより実りあるものにするでしょう。

全ての研修プログラムは、院内研修のみでも実践的かつ具体的な知識や治療技法を身につけられるよう設定されていますが、専門性の高い他施設と連携することで、専攻医に理想的な研修環境を提供しています。

シニアレジデントからのひとこと



精神科
2年次
帆刈 正太郎

荏原病院は東京医師アカデミーに所属しており、本病院を基幹施設として内科、麻酔科、精神科の後期研修を行うことができます。感染症内科が取り上げられることが多いですが、精神科病床を持つ総合病院ということも特色かもしれません。

地域との連携を重視しているため周辺機関からの紹介も多く、当病院が23区南部の最後の砦の一つとして機能していることを実感することが多いです。扱う症例も必然的に大学病院や一部大病院などより幅広くなり対応力が磨かれます。後期研修医も当然戦力として期待されており、精神科に関して言えば初年度から自身の初診/再診外来を持つ他、入院患者の主治医や当直も任されています。ただし量で勝負というわけではなく、むしろ一つ一つの症例や場面ごと丁寧で悩みながら自分なりの判断を下していく感覚かもしれません。その過程で指導医と議論したりあるいは自身で学習したりする時間も十分確保できるため、伸び伸びと成長することができる環境だと感じます。

またプログラムの提携病院も多く、他施設で研修する機会が柔軟に用意されていることも特徴です。精神科で言えば措置入院症例や児童症例なども提携先で経験することができます。本プログラムだけで専門医や指定医などの資格を十分取得することができます。後期研修に求めるものは人それぞれではありますが、私自身としては非常に充実した日々を送っております。是非研修先として検討してみてください。



(レジデント・指導医集合写真)



(研修風景)